

参考資料1

2R及び分別・リサイクルの促進による廃棄物の減量、廃棄物の適正な処理等を図るための取組例（ホテル・旅館業者）

取組項目		取組例
努		力 義 務
1	滞在者に対する使い捨ての日用品の提供又は販売を抑制するよう努める取組	<p>（使い捨てのアメニティグッズの提供を抑える取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャンプー類はポンプ式を採用 ・清掃やアメニティグッズの提供は、希望者のみ実施 ・アメニティグッズの種類の削減 ・アメニティの有料販売（カミソリ、くし） ・アメニティバーを設置 ・チェックイン時にフロントにて提供（客室設置を廃止） ・アメニティ持参のお願い（予約時に案内、HPに掲載など）
実		施 義 務
2	滞在者が廃棄物を分別して排出するために必要な環境を整備する取組又は滞在者に対し本市における分別に関する取組について理解を得るために必要な事項を周知する取組	<p>（滞在者に資源ごみの分別を促す取組）</p> <p>※①、②のいずれかの取組を実施。（①がより望ましい。）</p> <p>①滞在者が資源ごみを分別できる環境を提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客室内や共用部に分別ごみ箱を設置（缶・びん、ペットボトル、プラスチックなど） ・分別ごみ箱に多言語表記、イラストを用いたステッカーを貼り、分かりやすく表示 <p>②スタッフが分別する場合は、滞在者への分別の必要性をPR。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客室（フロント、共用部など）に、京都市作成ステッカーの掲示 ・客室（フロント、共用部など）に、京都市作成リーフレット「しまつのこころ得」を設置、配架 ・客室モニター、フロアガイド、デジタルサイネージ（ディスプレイ・iPadなど）に「京都市が推進する2Rと分別・リサイクルに当ホテルが積極的に取り組んでいる」旨を記載し、分別協力を呼びかける。